



鷺宮卓話

凜とした生き方

太田敬雄

「そこに愛はあるんか？」と京都の老舗料亭の女将を演じる宝塚出身の女優、大地真央が板長役を務めるコメディアン、今野浩喜に問いかける。2018年にスタートしたコマーシャルの「凜とした女将」シリーズ。評価も批判も多いようだが、今年の1月には『CM 好感度調査（金融業類）』で一位だったという。たった30秒のコマーシャルなのだが、ショートドラマのような作りは、毎回設定は違っても女将の決めセリフ「そこに愛はあるんか？」でシリーズをまとめている。

話しは変わるが、人類の歴史を通じて繰り返されてきた年寄りのボヤキに「今の若者は・・・」が有る。人間の生き方や行動パターンが世代を超えて一貫しているならばこの言葉は生まれなかっただろう。人が紡ぎだした「文化」は時代と共に変化するから、一つの世代の常識が次の世代には引き継がれない事が日常的に生じる。だから、いつの時代も年寄りには「今の若者は・・・」とぼやき続けることになる。

今、私たちが直面している新型コロナウイルスへの対応など、新しい状況が発生するとこれまでの「文化」はどう対応すべきか答えを持っていない。そこでは世代間のギャップどころか、同世代の中でも異なる考え方が混在するようになる。未知のウイルスに対する怯えや恐怖感がからまり、過度な反応・行動も生まれる。

自粛しなければ恐ろしいことになるという思いがある一方で、生き残るためには何とか経済活動を続けなければ生き残れないと頑張る人もいる。

メディアは「専門家」を担ぎ出して新型コロナウイルス問題を懸命に伝えるが、実はまだ新型コロナウイルスの専門家は育っていないのだ。世界中のウイルスの専門家、感染症の専門家、医療体制の専門家など、それぞれの背景をベースに対応を考えている。

「専門家」としての責任を負わされた人達は、統計を出しながら対応策を打ち出す。私たちは数字を見て信じてしまうのだが、その統計を出すにも随分苦労されたのだろう。毎年流行するインフルエンザに関するデータと比べて見ると、新型コロナウイルスに関するデータを、私たち一般の人々にわかるように出すことがいかに困難な作業なのかが窺える。それでも社会を混乱に落とし入れないためには為政者も専門家も敢えて分析し、対応策を打ち出すしかない。

このような混沌の中で、新しい生活様式が求められ、やがてはその苦悩の中から新しい文化の形も生まれてくるのだろう。しかし、当分のあいだ私たちは混沌の中で生きていくことになる。

この時代にあって「凜とした女将」は爽やかな涼風。板長の行動が正しいかどうかを一切問わず、「そこに愛はあるんか？」というワンポイントのみが問題にされる所に大きな意味がある。

地球規模の混沌の中にあって、私たちの社会が下す分析と行動指針、私たち自身が下す判断と行動の道しるべは「そこに愛が有るのか」である。相互理解に基づいて、平和な地球社会の創設を願う立場として、「そこに愛があるのか」の一言を強く肝に銘じておきたい。

(この卓話は、イエスの友会の機関紙『火の柱』のコラムに掲載したものに加筆・修正したものです。)

2020年度総会報告

2020年5月16日、皆様に委任状参加をいただき IIMS の年次通常総会を無事開催することができ議案は全て承認されました。ありがとうございました。第6号議案は皆様にも直接関連する議案です。下記の「重要なお知らせとお願い」を併せてご確認をお願いします。2020年度も精一杯世界平和に向けた活動をしていく所存です。引き続き、どうぞ宜しくお願い致します。

開催場所：群馬県安中市安中2456番地2（まなばる XD）

出席：100名（内 訳）・本人出席5名・委任状出席95名 / 社員総数148名

第1号議案 2019年度事業報告（承認） 第2号議案 2019年度収支決算・監査報告（承認）

第3号議案 2020年度事業計画（承認）

第4号議案 コロナ対策融資の件（承認）

⇒会長は理事を代表してコロナ禍への対応で日本政策金融公庫から融資（国の政策で3年間実質無利子）を受けることの承認を求めたところ満場一致をもって承認可決した。さらに会長は、本来「総会決議事案」となっている融資に関して、今後コロナ対応のさらなる融資を検討する場合（スピードが求められるため）「理事会に一任」として良いか議場に諮り、これも満場一致をもって承認可決した。

第5号議案 2020年度収支予算案（承認）

第6号議案 定款改訂の件（会費改定・会員の位置づけ含む）

⇒会長より賛助会員の位置付けを明確にするために定款の改訂が必要になったことが説明された。これまで2000円だった個人の正会員年会費を3000円とし、個人の賛助会員年会費を2000円とし、2021年度までに現会員に正・賛助のどちらかを選択してもらうことを提案。満場一致をもって提案通り承認可決された。※下記の「重要なお知らせとお願い」も併せてご確認ください。

第7号議案 役員改選の件（承認）

⇒全理事及び監事の重任（再任）で可決。役員互選にて会長・太田敬雄／理事長・太田琢雄それぞれの重任が決定した。

<会員の定義（定款改訂後）>

- (1) 正会員（会費3000円／年） 法人の目的に賛同し入会した個人又は団体。総会議決権を有する。
- (2) 賛助会員（会費2000円／年） 法人の目的に賛同し支援を申し出た個人又は団体。議決権を有しない。
- (3) 学生会員（会費無料） 法人の目的に賛同し学生会員として入会した学生。議決権を有しない。

会員の皆様へ

<重要なお知らせとお願い>

現在、会員の皆様は全員「正会員」です。今回、総会第6号議案にて会員定義を明確化した理由は、現会員の皆様のほとんどが（活動や運営への積極参加ではなく）純粋に活動支援を目的とさせていただいているため、その皆様により適切な「賛助会員枠」を確立するべきと考えたためです。正会員には議決権という権利と責任が生じます。多くの皆様がその権利を必要としていないにもかかわらず、長年責任のみを課してしまっていました。これまでのお力添えに感謝の意を持って、今回その部分の整備に思い切って踏み切りました。（個人賛助会費はこれまでと同じ年間2000円です。総会参加も可能です。）

賛助会員枠の開始は2021年度となります。つきましては<1>現会員の皆様の中で「2021年度から賛助会員ではなく正会員を希望される場合」は、お手教で申し訳ありませんがその旨ご連絡ください。<2>ご連絡がない場合、2021年度より現会員の皆様は「賛助会員」となります。その場合、年会費はこれまでと変わりません。唯一の変化は総会への出欠連絡や委任状提出をいただく必要がなくなる点です。（ご希望があれば総会へのご参加（オブザーバー参加）も大歓迎です。）何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの影響下で

コロナ禍の中、皆様いかがお過ごしでしょうか。影響を受けた皆様に心よりお見舞い申し上げます。我々も複数の壁に当たりました。その中でどうすれば関わりのある人々・見えない脅威にさらされた人々に寄り添うことができるか。自分たちに今何が出来るのかを考えて行動しています。

MANAPAL&IIMS (マナパル&イームズ：この4月より部門別名称をマナパルキッズとイームズ中部・高等部に変更) は4月5日と全授業をオンラインに切り替えました。Zoom ミーティング・LINE 通話・YOUTUBE 等、先生たちの頑張りや生徒保護者の協力でこれまでになかった教育環境を構築しました。大変でしたがその分各々にとって新たな気付き・価値観にもつながったように感じます。この経験を活かし、休校当初から危惧していた「家庭内ストレス」や「教育格差の拡大」への支援策として、4月後半より「学び場オンライン for KIDS in GUNMA」を開設し、英会話教室や家庭学習支援を無料提供。6月にはこの活動が赤い羽根共同募金の助成を受け、多くのボランティア講師たちの賛同協力を得ながら引き続き教育格差等の課題解決に取り組んでいます。 ※記事は上毛新聞(共に5月)



オンラインで家庭学習支援
安中、高崎で活動多目的教育施設

新型コロナウイルスの感染症の影響で臨時休校が続く中、安中市や高崎市で子どもたちの学びを支援する多目的教育施設 Manapal&IIMS (太田琢雄代表) は、オンラインで子どもたちの家庭学習を支援する「学び場」を開設し、英会話教室や家庭学習支援を無料提供。6月にはこの活動が赤い羽根共同募金の助成を受け、多くのボランティア講師たちの賛同協力を得ながら引き続き教育格差等の課題解決に取り組んでいます。

サービスを開始した。地域の小、中、高校生が対象。同活動に賛同した現役の高校教師や群馬大の学生らが講師を務め、無料通話アプリ LINE (ライン) のオープンチャット機能を通じて勉強に関する質問に「Yes!」や「No!」で回答したり、ビデオ会議サービス「Zoom」を使って家庭学習の様子を見守るなどしている。

さらに、同施設は毎週月曜午前11時から、県内の小学生向けオンライン英会話の無償配信を実施する。参加方法は「まなばる」のホームページ (http://manapal.jp) で紹介している。問い合わせは太田代表 (070-6999-9773) へ。

オンライン英会話 児童向け無料配信
27日から、まなばるキッズ

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う臨時休校を受け、安中市や高崎市で子どもの英語教室を「Zoom」で開く「まなばるキッズ」(太田琢雄代表) は、小学生向けのオンライン英会話の無料配信を始める。27日から、まなばるキッズが提供する「まなばる」のホームページ (http://manapal.jp) にアクセスすれば参加方法が分かる。

本田代表は「子どもたちの学びと交流はコロナ禍の中では希少。成長につながる時間になれば」としている。休校期間限定で週1回開催する予定だが、休校措置が長期にわたる場合は延長を検討する。

問い合わせは太田代表 (070-6999-9773) へ。

多文化交流 in ぐんまも活動を始めています。今後の状況は不確かな部分もありますが、出来る範囲での実施に向けて、群馬県の社会経済活動再開に向けたガイドライン等を参考にしつつ、スタッフ全員で前向きに準備を進めています。例年は8月に開催しておりますが、今年は9月に変更して開催する予定です。スタッフの話し合いも現在はオンラインミーティングにて行っています。



写真は『多文化交流 in ぐんま 2020 夏』に関する大切なお知らせとして Facebook に掲載したスタッフ会議の一コマです。皆の手は「多文化」をイメージした T の文字を表しています。

3月号のニューズレターにも記しましたが、多文化交流プログラムは貧困問題や環境問題、難民問題など、どんな

問題に対応する場面でも ベースとなる人と人の信頼関係を構築する大事な基礎活動です。

これまで参加者負担で10年以上実施してきましたが、皆様に経済的に支えて頂き、アルバイトも無くして苦勞している学生も参加できる活動にしていければと願っています。

ご寄付のお願い：新型コロナウイルスは国際交流をはじめとした IIMS の多くの活動に影響を与えており（そもそも貧乏団体ではありますが）緊急融資を受けなくてはならない程度に財政的に苦しい状況に置かれています。「一度にまとまった額は大変だけど、月 500 円なら…」というクレジットカードによる寄付方法もごさいます。（自動決済はいつでも停止可能です。）活動を支えていただくことができれば幸いです。

会費のお支払い・ご寄付は「クレジットカード」または「郵便振替」で！

【クレジットカードの手続き】



左記 QR コード、もしくは下記 URL からアクセスして頂き手続き・ご登録ください。
アクセス先のページから「会費の支払い」と「ご寄付」に分かれておりますので、それぞれのページへ進んで頂き、手続きをお願い致します。

(<http://www8.wind.ne.jp/mthc/iims-cardannai>)

【郵便振替】

下記口座にお振込み下さい。

●加入者名：国際比較文化研究所

●口座番号：（普通）00510-0-61974

※ゆうちょ銀行から振込可能な口座です。

※通信欄に「会費」または「寄付」とご記入ください。

会費・寄付<敬称略・順不同> (3/16~6/16)、カード振込 (5/31 まで)

会費並びにご寄付を有難うございます。皆様に支えられて、国際比較文化研究所は今後とも「平和な地球社会の実現」に向けての諸活動に邁進して参ります。

新たにご入会下さった皆さん：李孟蓉、原啓太、小原智、小幡静代、内野春香。

会費：李孟蓉、森泉寿義雄、小林久子、菅ヶ谷純弘、杉浦隆一、原啓太、斎藤正典、川口知幸、丸山武子、Candy、永田強一、野村誠、村井田和夫、木暮道子、小原智 (19,20)、片岡謙、山縣英明、黒田絢、福田英作、佐俣英司、小幡静代、青木洋子、斎藤野乃、伊藤優子、岩本謙、櫻井なおみ、佐俣由香 (19,20)、板垣剛、小林慎樹、關橋理紗、中島愛、鈴木武仁、藤本恵大、宇佐美若奈、根岸大輔、梶山拓弥、増井杏奈、ファン翠、高山佳葉、福田則行、斉木雄作、西加名子、小坂景子、横井宏行、岩丸愛、大谷雄一、吉田省史郎、洪潔清、菅ヶ谷由美子、吉村耕治、丸山裕太、関口澄、阿部洋一、木村真弓、小井戸登志子、土屋操、伊藤成、山崎恵美子。

寄付：前田浩（前号に記載漏れでした。失礼しました）

斎藤正典、川口知幸、鈴木諭香子、松香光夫、Candy、磯昭子、野村誠、内野春香(毎月)、櫻井えり佳・キムボグム、木暮道子、坪井教由、宇佐美若奈(毎月)、藤本恵大(毎月)、片岡謙(毎月)、福田英作、小幡静代、嶋田裕司、岩本謙、佐俣由香、吉田省史郎、関千景、板垣剛（まなばる）、大澤直子、菅ヶ谷由美子、小井戸登志子、松本光、花村ひろ子、伊藤成。

*注：会費の（ ）はお振込み頂いた年度で、それ以外は'20年度の会費です。ご寄付の（毎月）はカード振り込みによる毎月のご寄付、（まなばる）はまなばるへの指定ご寄付です。

編集後記：私は「紙文化」で育ちましたので、紙のニューズレターに拘ってしまいましたが、時代は「ネット文化」へと着実に移行しているようです。コロナによる長い自粛が、その移行を急速にはやめています。ニューズレターもご希望の方には徐々にメールによる配信にしていきます。メール配信をご希望の方はお手数ですが totatakao.iims@gmail.com までご一報ください。
(T)

発行 特定非営利活動法人国際比較文化研究所
事務所：〒379-0124 群馬県安中市鷺宮 3413-3
電話：027-382-5998 **FAX**：027-382-6393
研究所ホームページ：<http://www8.wind.ne.jp/mthc>
メールアドレス：totatakao.iims@gmail.com
まなばる：<http://manapal.gunmablog.net/e80854.html>
メールアドレス：mail@manapal.jp
郵便振替口座番号：00510-1-61974